



岳岱自然観察教育林のシンボルツリー選定

東北森林管理局 米代西部森林管理署

はじめに

岳岱自然観察教育林及びその周辺地域は、秋田県藤里町を流れる藤琴川の上流で、藤里駒ヶ岳と三蓋山の2つの高い山に挟まれた台地に位置しており、ブナ林が広がる林内の遊歩道を散策しながら、世界自然遺産「白神山地」を感じることができます。

秋田県側の「白神のシンボル」として、林野庁の「森の巨人たち百選」に選定されるなど地域に親しまれてきた「400年ブナ」が2022年の冬に倒伏しました。これを受け、東北森林管理局は秋田白神ガイド協会や藤里町などの地域関係者から意見を集め、「白神のシンボル」を受け継ぐにふさわしく、これまでも林内で親しまれてきた巨木2本を新たなシンボルツリーに選

新たなシンボルツリー

定しましたので、ご紹介します。

一つ目は、ブナの巨木です。岳岱自然観察教育林の駐車場から遊歩道の分岐を右手に進んだところであり、幹周約4m、樹高約29mもあります。倒伏した「400年ブナ」とともに、これまでもブナの巨木として知られた存在でしたが、新たに「岳岱大ブナ」と愛称を付けて、より親しんでいただくこととしました(写真1)。

もう一つはシナノキの巨木です。岳岱大ブナからさらに数十m進んだ遊歩道沿いにあり、幹周約5m、樹高約28mの堂々とした姿です。この木は、幹にコブを抱えており、これが神社の狛犬に見えることにちなんで、愛称を「こま

管内概要

所在地 秋田県能代市御指南町3-45

区域面積 197,999 ha
うち森林面積 118,469 ha
うち国有林面積 45,192 ha

関係自治体 能代市、男鹿市、潟上市、藤里町、三種町、八峰町、五城目町、井川町自然遺産の白神山地があります



米代西部森林管理署は、秋田県の北部に位置し、米代川の下流域にあたる能代市など3市5町に所在する約4万5千haの国有林を管理経営しています。

藩政時代より、天然秋田スギの産地として木材産業が発達してきた地域であり、現在もスギを主とした人工林が林地面積の5割を占めています。

米代川河口の海岸国有林「風の松原」は、藩政時代から植林が行われてきた歴史があり、市民の憩いの場として活用されているほか、北部には、世界自然遺産の白神山地があります。



図1 概略位置図

いぬシナノキ」としました(写真2)。
いずれも遊歩道上から見ることで
き、周辺では一際目を引くシンボルツ
リーといえます。

🌳 倒伏した400年ブナ

倒伏した「400年ブナ」は、今で
も駐車場から遊歩道を300mほど

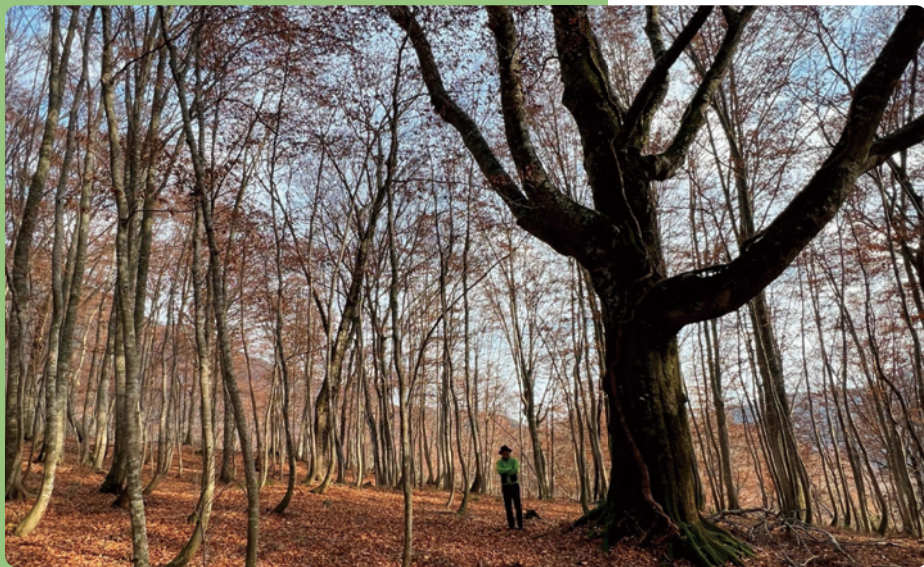


写真1：岳岱大ブナ



写真2：こまいぬシナノキ
赤丸部分が木の幹にあるコブ。
これが神社の狛犬に見えることにちなんで、
「こまいぬシナノキ」と呼ばれています。



写真3：在りし日の400年ブナ

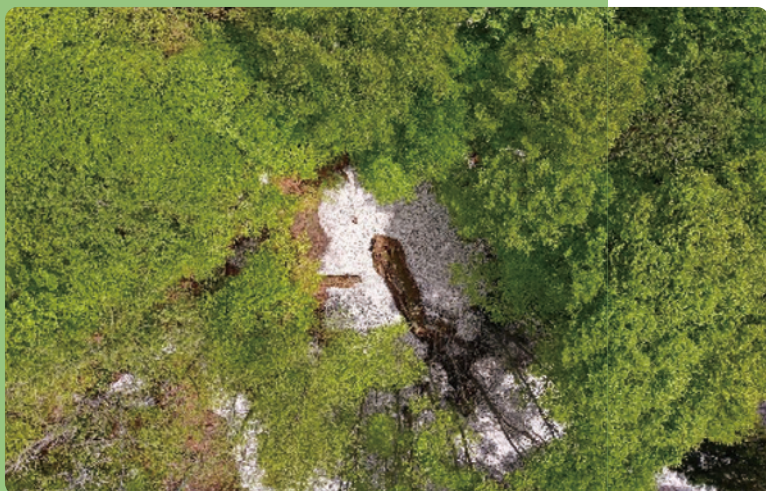


写真4：400年ブナ倒伏により生じた林冠ギャップ

真っ直ぐに進んだところで見ることは
できません。倒れる前は、幹周約4・
85m、樹高26mもある巨木で、地域住
民による保存活動も盛んに行われ、台
風等による被害も乗り越えてきました
が、近年の樹勢の衰えに加え、多雪が
大きく影響し、倒伏したものと思われ
ます。

この場所では、「400年ブナ」が倒

れたことで林冠ギャップができ、明る
くなった林床では稚樹の成長が期待さ
れます。

このため、藤里町を含めた地域関係
者と調整のうえ、「400年ブナ」は除
去せず、現地にそのままの形で保存す
るとともに、林冠ギャップ内の天然更
新や森林再生のプロセスを観察する場
として活用していくこととしました。

🌳 おわりに

岳岱自然観察教育林の雪解けは遅
く、道路開通は例年5月下旬頃になっ
ています。皆さまにも機会があまりま
し。是非「岳岱大ブナ」「こまいぬ
シナノキ」に会いにお越しください、
楽しんでいただきたいと思います。